

第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2017年5月13日(土)～14日(日)

@サンポートホール高松、高松シンボルタワー、JRホテルクレメント高松

ワークショップ 19	
企画名	今、私たちの求めるサポートとは？キャリア支援プログラムを知ろう！語ろう！
日時	2017年5月13日(土) 16:45～18:15
会場	第8会場 (高松シンボルタワー タワー棟 4F BBスクエア)
企画責任者	白石 裕子 (隠岐広域連立隠岐島前病院)
定員	54名
開催の目的・概要	
【開催の目的】 企画意図 卒業したての医師の中で女性が3割の現在、女性が4割を超える医学部も多数あり、彼女たちが医師人生をどのように全うするか、注目されています。 女性にはライフイベントが盛りだくさんです。研修医時代、30歳代、子育てや家事、介護等との両立など一人では抱えきれません。順調に医師を続けていければよいのですが、忙しすぎる、そして責任も重大であるために続けづらい場合もあります。妊娠出産を機に休職することもあるでしょう。一度休むと復職のハードルが高い職業集団である医師。そして女性の社会進出が叫ばれる昨今では、各所でワークライフバランスに関する取組みがなされています。しかし忙しい毎日の中で、それらを知るすべはあまりないのが現状です。気づかなければ利用することはできない！各県や自治体、大学単位などそれぞれで行われている、女性医師復職支援等のキャリア支援プログラムについて現状を把握し、今、私たちの求めるサポートとは何かについて考え発信しましょう。今後の女性医師支援、ひいては医療職全体のワークライフバランスのとり方を考えるために、ワークショップを開きましょう。	
【概要】 構成 【1】挨拶< 【2】各地プログラム紹介 (40分) ①島根大学地域医療支援学講座 准教授 佐野千晶先生 「島根大学医学部における女子学生、女性若手医師の面談を通して」 ②自治医科大学地域医療学センター 准教授 牧野伸子先生 「地域で頑張る医師の支援 ～時間的空間的多様性を超えて～」 ③岡山大学大学院 地域医療人材育成講座 教授 片岡仁美先生 「岡山大学女性医師キャリア支援10年の軌跡・大学で、地域で」 ④山形県 社会医療法人公徳会トータルヘルスクリニック院長 川合厚子先生 「山形女性医師ネットワーク YJIN の活動」 【3】パネルディスカッション (30分) 想定対象者：医師， 歯科医師， 看護師， 薬剤師， 学生 対象人数：40	